

園からのコメント

- ・保護者の皆さまには、お忙しい中アンケートにご協力頂きまして有難うございました。皆さまから頂戴した励ましの言葉や、貴重なご意見を真摯に受け止め今後の教育・保育の改善に努めていきたいと思っております。
- ・新型コロナウイルス感染症が5類になり、運動会・公開保育・小学生や中学生の受け入れ・異年齢児の交流等、教育・保育活動をこれまでより広げて行う事が可能になりました。今後も継続していきたいと思っております。その都度、ご協力をいただきまして有難うございました。

【散歩について】

- ・散歩に関してのご意見を多く頂戴いたしました。

行き先のマンネリ化、5月～夏日もある為、その時期の園外保育はやめたほうが良い、雨天は中止にせずドライブだけでも行ってほしい、ルールや安全について指導しているのか等、ご意見をいただきました。

行き先についてですが、同じ所に行く理由の一つとして“季節の変化を目や肌で感じてほしい”というねらいがあります。例えば夏から秋・冬にかけての樹木を見るとだんだんと葉が紅葉し、次第に葉が落ちていきます。実をつける樹木もあります。大人は季節の移り変わりを知っていますが、こどもに季節はわかりづらく、「あれ？なんだかこの前と違うね？どこが違う？風がふいているね。風で葉っぱが落ちちゃったのかな。雨降ったね。雨や風がふくと寒いね」等、保育者は教えるのではなく、あえてこどもたちに気づいてほしい言葉や、目で見てわかる・肌で感じてわかる言葉をかけていき季節の移り変わりをこどもたちに感じとってほしいのです。緑だった葉が紅葉し、だんだん葉が落ちて春にはまた、新しい芽がでて花が咲きます。そしてそのころには、こどもたちも一つ大きく成長します。そんなふうに季節は移り変わっていくという事に数年間繰り返して、こどもたちに気づいてほしいのです。

- ・ルールについては、その都度こどもたちに知らせています。散歩に行く際には、園で作成した散歩マニュアル・安全管理マニュアル（千葉県に提出）に、沿って行っています。マニュアルには、散歩中の安全管理・人員確認は随時・バス利用時の注意事項・散歩の行き先の危険個所の確認・保育者間の連携・散歩の中止事項（気温・天気・園児の様子）等記載。バスのドライブについては、今後検討していきます。

来年度に向けて、※千葉県自然環境保育認証を受ける申請を行いました。

“自然環境保育を実施しているこども園である”ことが、千葉県知事より認証されます。

※自然環境保育とは

保育者による個々のこどもの状況や発達過程を踏まえた適切な環境づくりや支援のもと、千葉県の豊かな自然環境や地域資源と関わる自然体験活動を通して、こどもの豊かな人間性を育み、心身の調和のとれた発達の基礎を培うことを目指して行われる保育等をいいます。

【自然環境保育基本理念】（千葉県）

千葉県自然環境保育は、千葉県のこどもが、身近で豊かな自然と出会い、自然の大きさ、美しさ、不思議さなどに心を動かされる体験を通して感性を豊かにし、自然環境に親しむとともに、自然環境の中で仲間と遊び、関わりを深めることにより、ありのままの自分を肯定する気持ち、他者を信頼する気持ち、自然を大切にすることを育み、自ら考え、行動し、成長しようとする力の基礎を培うことを基本として行うもの。

【遠足について】

- ・遠足についても、様々なご意見を頂戴いたしました。ディズニーランドは、前年度からの予約が必要になり、更に抽選となります。抽選で外れてしまった場合は、ディズニーランドへは、行けないこともあります。（今年の1月中の申し込みで、来年の9月～3月の抽選）遠足については、場所を含め今後検討させていただきます。

【運動会について】

- ・運動会について、重要事項説明書にも掲載しておりますが、当園は振替休日を行わない為、土曜日・日曜日に、運動会他行事を行うことはありません。その他理由として土曜日に開催すると、小学生のごきょうだいが一緒に来ることが予想され、園庭内が大勢の人でいっぱいになることが予想されます。今年度の運動会を見て、今年度以上の出入りは改めて難しいと判断しました。又、駐車場も香取市のイベントと重なっている場合には、一面を借用することができないこと等があげられます。行事は近隣の小中学校・香取市・こども園とで、日程調整しながら行事を決めています。その他、リストバンド・カメラスポットについては今後検討させていただきます。

【水遊び・プールについて】

- ・水遊び・プールについて、様々なご意見を頂戴いたしました。当園では、文部科学省・子ども家庭庁・スポーツ庁等の「プール活動・水遊びの事故防止」「教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン」を参考に、水遊び・プール遊びの際の安全管理マニュアルを作成し、マニュアルにそって実施しております。クラスごと、プールに入る直前に、気温とWBGT（暑さ指数）を測定し（気温 25℃以下、35℃以上、）（WBGT31℃以上）は、中止にしています。又、職員はプール遊びの前（6月）に、消防署員より水遊び・プール遊びの際の救命指導を受けています。

【メールについて】

- ・メールについて、遅い、わかりづらい等のご指摘を頂戴いたしました。今後は、内容についても的確にし、なるべく早く配信するように努めて参ります。来年度4月からは園 Rennraku を使用せず、おがーるシステムへ移行していきます。園だより・その他のお手紙も配布せず、おがーるシステムの連絡機能を使用して、お便りを添付致します。

【職員間について】

- ・職員間の情報共有ができていないとの、ご指摘をいただきました。大変申し訳ありませんでした。今後はそのようなことがないように、今まで以上に声を掛け合い職員一同、連絡を密にしていきます。

【発表会について】

- ・発表会についても、沢山のご意見を頂戴いたしました。少しずつ、やり方を変えていけたらと思っております。確かに、「一つの演目を友だちとやり通すことで、達成感を感じる」「大勢の人の前で発表し、自信につなげる」等、保護者の皆さまにとっても、お子様の成長を感じられる行事です。ですが、保護者の皆さまの想いとはうらはらに、発表会はこどもたちにも、保育者にとっても、実はとても負担になっている行事なのです。数カ月の間、沢山の時間を練習についやし、こどもたちが自由に遊ぶ時間が減ります。保育者は保護者の皆様に喜んでもらおうと出来栄を気にして、一生懸命になればなるほど練習を重ねます。そして、こどもたちも間違えないようにと不安になり、練習が嫌に感じるお子様も出てきます。ダンスや、人前で表現することが、好きなお子様もいれば、苦手なお子様もいます。苦手なお子様にとっては、練習時間や発表が苦痛でしかないのです。そうしたこどもたちの姿に直面するたび、「これは教育・保育なのだろうか」「もっと、こどもたちとの時間を大切にしたい」と、職員全体で悩み、今後行事の有り方を考えていかなければならないと痛感しております。今年度は、練習はあまり行わない、練習という言葉は使わず“発表会ごっこ”にしよう、衣装・小道具は、最小限にと、職員間で決め発表会に臨みました。発表会の有り方を少しずつ、変えていきたいと思えます。

0・1・2歳児の発表会は、考えておりません。0・1・2歳児のお子様にとっては、自分の意思で衣装を着て、舞台に立って、表現する等、総合的に考えて難しいと判断しております。公開保育でもお家の人が見えたら、側にいきたい、一緒に遊びたい、甘えたい、というような姿が見られます。

0・1・2歳児は、お家の人に見守られたり、抱かれたりしながらこども園で、楽しい時間を過ごし親子の愛着関係を大切にすることに重点をおきたいと思えます。

【法人について】

- ・おみがわこども園を清水こども園に寄せていく必要があるのか
- ・同一法人なのになぜ行事等違うのか
- ・一部の人の指摘や意見を全体のものとして捉えてほしくない ～ 皆が望んでいるわけではありません。園の方針そのままがいい。
- ・清水福祉会になってから、散歩や外遊びが増えた ～ 体を動かす機会が増えた 等、法人に関してのご意見を頂戴いたしました。香取市から引継ぎ継ぐ際に、すぐに行事や教育・保育は変えないこととお話しました。その為、清水こども園とおみがわこども園での、行事内容が違ってきます。清水こども園では、自然に触れる機会が多いですが、おみがわこども園は場所的に難しく、全く同じにすることは難しいです。同一法人なので理念は同じですが、場所・環境などを加味し、それぞれの園に合ったやりかたで進めていきます。今現在、以前のおみがわこども園の行事をそのまま残し、教育・保育内容については、以前おみがわこども園が力を入れて取り組んでいた、子どもたちの「なぜ」「どうして」「やってみよう」「おもしろい」「たのしい」を別の方法（ピラミーデ）で、継続しております。日本の保育も一斉に制作や主活動を行う旧保育から、一人ひとりの主体性を大切にしたい新保育へと変わってきています。「子どもが考えて行動しようとする」「自分たちで考えて選び、作ったりできる」と、アンケートのご意見でもありましたように、清水福祉会は、子どもが主体的に遊ぶところに、重点をおいております。

保育室はコーナーで区切られ、それぞれに違う遊びが丁寧に用意されています。子どもが自分でやりたい遊びを見つけ、自分で選択して、自分で決めて主体的に過ごせる環境づくりをしています。毎月、誰もが知っているテーマを題材にします。テーマに沿って、コーナーのひとつひとつは、保育者が子どもたちに“気づかせたい”“わかかってほしい”というねらいをもって、子どもたちがワクワクできるようにコーナーを設置しています。一斉に授業したり、教え込んだりせず、サークルタイムは集まるって楽しいから始まります。サークルタイムとは大人や子どもが丸くなり、みんなの顔が見える楽しい雰囲気の中、保育者がリードしながら、お互いにコミュニケーションをとり、気づき、分かり、楽しみを共有するきっかけをつくる為、みんなとつながるように丸くなる時間です。サークルタイムは、保育者から指示や、教え込む時間ではなく、子どもが考える、子どもが見つかる、子どもが決める、子どもがそれ知ってる、わかった！と、子どもから色々な意見や思いを引き出す為の場を目指しています。子どもが、主体的に「やってみよう」「知りたい」「面白い」と、遊びが学びにつながるように、子ども自身が「わかるって面白い」「できるって楽しい」「これどうなってるの？」という遊びが学びにつながる心の動きをたくさん経験してもらいたいと思います。

2月は衣服をテーマにして遊びます。

「何を着ようかな」「お出かけするときは何着よう」「寒い時は何を着る」「どうやって着るのかな」「これ合わないね」等と、衣服で沢山遊び、衣服の着る順番、自分で着脱する、洋服のサイズアウト、寒い時・暑い時・雨の時に身に着ける組み合わせはどれか等を遊びながら学んでいきます。年齢に応じて、制服（どんなお仕事の人を着ている服かな）にも触れていきます。来年度は、ピラミーデについても保護者の皆様に発信していこうと思います。

- ・令和6年度の取り入れたい行事については、参考にさせていただきます。